

「災害多発時代」

それでも 守る

小郡市消防団
第5代団長 柳原和敏
職業 橋梁調査・設計会社経営

- ◆連載企画第3回「消防団とわたしたち」現・前団長対談
- ◇豪雨災害から地域を守る！
- ◆我ら、女性消防団♥

■発行／小郡市消防団

消防団とわたしたち



「広報誌を手にとった皆さまに、消防団についてもっと知っていただきたい。」
そんな想いから、誰よりも小郡市消防団を知るお二人に、消防団のこれまでとこれからについて伺いました。【インタビュー協力 写真左:田中前団長 右:柳原団長(本文敬称略)】

対談者プロフィール紹介

○小郡市消防団 前団長

田中 保夫(写真左)

平成 2年 第1分団入団
平成10年 分団長 拝命
平成14年 副団長 拝命
平成22年 団長 拝命
令和 2年 退団

○小郡市消防団 団長

柳原 和敏(写真右)

平成 2年 第2分団入団
平成15年 分団長 拝命
平成21年 副団長 拝命
令和 2年 団長 拝命

田中 — まず、お二人が消防団に入団したきっかけについてお聞かせください。

田中 — 十年間消防団を務めた幼なじみが退団する時に、私のところに誘いに来たんです。十年務めた者から誘われたら断れないだろう、ということで入団しました。

柳原 — 私も、それまで消防団をされていた方が引越される時に、代わりに入団しました。

田中 — 団長に就任された時は、どのような気持ちだったのでしょうか。

田中 — 勘違いもあったかもしれませんが、その時は「私が団長になったほうがいい」と確信して、団長になりました。

柳原 — 副団長として十年間、田中団長と一緒に活動しました。田中団長が退団される時に「後任はお前で」と言われた時は、本当に嬉しく思い、「ありがたうございます」と、素直に引き受けました。

田中 — 特に印象に残っている活動について、お聞かせください。

田中 — 熊本地震の災害支援です。支援に行けなかった団員が、帰った時に出迎えてくれて、感動しました。消防団というのは、自分のできることをできる分だけやるのが基本です。まさにそこに、小郡市消防団があった気がしました。

柳原 — 熊本地震と九州北部豪雨の災害支援です。やはりその活動が、心に残っています。



熊本地震 御船町災害支援
地元ボランティアの皆様と 2016年6月11日

田中 — 田中前団長は、団長として、どのような心をかけられたのでしょうか。

田中 — 「団長足り得る」ことです。団長でいることが目的ではなく、団長足り得ることが目的。物事を決断する時に迷うことはありませんでした。やりたいことではなく、やるべきことというのは自ずと決まります。そう思って務めさせていただきました。

柳原 — 柳原新団長に伺います。今後の小郡市消防団は、どのような姿を目指すのでしょうか。

柳原 — 元気で活力があり、地域に親しまれる、より市民に身近な組織を目指したいと思えます。

田中 — 田中前団長は、柳原新団長に何を期待されますか。

田中 — 柳原新団長とは、もう二十年、一緒にやってきました。最善の策をみんな知っているはず。思った通りにやってくればそれでいい。

柳原 — 助ける側と助けられる側との意識の差は、想像がつかないほど大きいものです。特に消防団員は、人を助ける意識が強い。そのことを十分承知したうえで、くれぐれも二次災害のないように、柳原団長にお願いします。

田中 — 最後に、広報誌を手にとった皆さまへ、メッセージをお聞かせください。

田中 — 災害においては、自助が一番です。自助があつて初めて、共助や公助があります。このことを市民の皆さんが共有しておかないと、災害による被害が大きくなってしまいます。

柳原 — 災害に強いまちづくりのために、市民の方と消防団とともに、頑張りたいと思います。

豪雨災害から地域を守る！

～豪雨に備えた活動と、令和2年7月豪雨について～

「令和2年7月豪雨」は、小郡市内においても甚大な被害をもたらしました。河川や用水路は氾濫し、道路や田畑が冠水しました。



味坂南側



古飯東信号付近

消防団では、各分団ごとに地域をポンプ車等で巡回し、避難所開設の広報、危険箇所のチェック、冠水した道路がある場合にはコーンを立て、車両の通行を制限するなどの活動を行いました。



平方陸橋付近

6月7日に三井消防署にて、毎年のように地域を襲う豪雨災害に備え、土のう約1,000袋を作成しました。初夏の日差しが強まる中、新型コロナウイルス対策としてマスクを装着し、熱中症にも気を付けながら行いました。



作成した土のうは、団本部、各分団、市(体育館敷地内)に保管しています。



小郡市のホームページでは、避難所の一覧や、洪水ハザードマップ等の防災に関する情報が掲載されています。これらの情報は、災害時における指針となります。日ごろの備えとして洪水ハザードマップ等で危険とされている箇所等チェックし、災害時は早めの避難を心がけましょう。詳しくは、小郡市のホームページからご確認ください。

「エリアメール、緊急速報メール」等で配信される**警戒レベル**は以下のとおりです。避難時には、最も重要な情報の1つですので、**警戒レベルを把握し**、早めの**避難**を心がけましょう。

| 警戒レベル | 避難情報・とるべき行動 |
|--------|---|
| 警戒レベル5 | 災害発生情報 すでに災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動が必要。 |
| 警戒レベル4 | 避難勧告／避難指示(緊急) 災害の可能性が極めて高く、立ち退き避難を基本に行動する。困難な場合は、近隣や建物内の安全な場所へ緊急避難。 |
| 警戒レベル3 | 避難準備・高齢者等避難開始 避難に時間がかかる人は避難開始。危険を感じた場合は自発的に避難する。 |
| 警戒レベル2 | 注意報 ハザードマップ等による避難場所や経路を確認・注意を行い、避難に備える。 |
| 警戒レベル1 | 警報級の可能性 防災気象情報等の最新情報に注意を向け、災害の心構えを高める。 |

我ら、女性消防団♡

消防団には多くの女性団員が所属しています。令和2年2月9日に筑後地区の女性消防団員約60名が小郡市に集い実施された、避難所運営訓練・炊き出し訓練の様子をご紹介します。



防災グッズ作り!!

ダンボールと、新聞紙が...



避難所運営
想定中



炊き出し訓練

約100人分の
豚汁
作りました♡



スリッパに!!



第1回筑後ブロック会女性消防団員の集い

小郡市消防団は総勢**242名**で構成されています。地域の安全・防災力向上のため、日頃から訓練に励み、技術や知識の習得に努めています。

様々な職業、幅広い年齢層のメンバーが、それぞれ仕事等に無理がないようお互いに協力しながら活動しています。

ぜひ、消防団に入ってみませんか。団員一同、心よりお待ちしております！

小郡市消防団



- 入団資格
- 活動内容
- 公務災害補償
- お問い合わせ

18歳以上で市内に居住、勤務、通学している男女
災害時活動・各種訓練・防災啓発等
消防活動中の負傷者等に対する補償制度あり
〒838-0198 福岡県小郡市小郡255番地1
小郡市役所 経営政策部 防災安全課 消防・安全係
TEL：0942-72-2111(内線243)
<http://shobo.ogori.net/>